

相川和宏校友会会長らを招き大学・短大の合同懇親会



くま経 訪問

青山学院校友会熊本支部

青山学院校友会熊本支部（小申信夫支部長）はこのほど、熊本市中央区南坪井の「GRILL de GYAN」で2013年度支部総会および大学・短大合同懇親会を開催した。当日は来賓として相川和宏青山学院校友会会長、薦田博青山学院常務理事らが参加した。懇親会では短大卒の同窓も参加し、終始賑わいを見せた。

五百旗頭・熊本県大理事長を招き凌霜忘年会



くま経 訪問

神戸大学凌霜会熊本県支部

神戸大学（経済・経営・法学部）卒業生を会員とする神戸大学凌霜会熊本県支部（宮崎豊喜支部長・経済42年卒、会員45人）がこのほど、熊本市中央区水道町のメルパルク熊本で忘年会例会を開催した。

今回の特別ゲストは神戸大学名誉教授でもある五百旗頭真熊本県立大学理事長。盃を交え、互いに学生時代の思い出話や記念撮影などで大いに親睦を深め、終始賑やかな忘年の集いとなった。



▲13年12月に発足した「晩白柚ペースト活用研究会」の第1回戦略会議（八代市）



▲㈱フードワークスが設立した㈱肥後相良ファームのヤマトイモ畑（相良村）



▲㈱肥後相良ファームが生産するヤマトイモ

▲晩白柚の果皮、綿、果実をペースト状に加工した「晩白柚ペースト」を開発したデザート工房オレンジ会代表の岡田行枝さん



▲㈱丸菱が設立した㈱九州夢ファームの夏イチゴのハウス（五木村）

「フードバレー構想」実現へ研究会設置 農業参入企業で構想推進につながる動きも

熊本県が県南振興の起爆剤と位置付ける「くまもと県南フードバレー構想」。同構想は県南の豊かな食材を生かして、食の分野から同地域の経済活性化を図るのが狙い。13年7月に農林水産および商工業者、行政、研究機関などが結集し推進協議会が発足した。現在、食関連業者など約450団体・個人が会員として参加。各機関が連携し「食」に関するネットワークを構築するとともに新商品開発や販路開拓へ向けたビジネスマッチング・共同研究への支援や人材育成を目指しながら、食関連産業、研究機関の集積を図っている。

コミュニケーション講座



魅力ある人間力アップに向けて（第30回）
人は、ひとりでは生きて行けません。さまざまな形で支えあって生きています。それぞれが持つエネルギーを見守り、引き出す。コミュニケーションは、人と人をつなぐ原点ともいえます。家庭、職場、近所付き合い、友人との付き合い、その全てがコミュニケーションであり、人生を楽しむこと、エネルギーアップにもつながります。ここではさまざまなコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

「父の思い、母の思い」

今月のテーマ
コミュニケーションアドバイザー 津川 育子

「父と母は、同じ気持ちで子育てをしなければ、子どもは迷ってしまう」
私も、そう思いながら子育てをしてきた気がします。けれど、そう思っている父親と母親は、違う人間です。それぞれの価値観があるのだから、同じ気持ちに必ずなれるわけはありません。

例えば、「こに「親の顔を伺う良い子」がいる」としましょう。久しぶりに仕事が終わるとお父さんが、キャッチボールをしてくれると言います。本当はそれが嬉しいけれど、新しく買ってあげた洋服が汚れるからと、言葉にはせせずにイライラしているお母さんの姿がありました。その子は素直に、「お父さんと遊びたい」という気持ちを、表に出せる状況にいますでしょうか。ましてや、お父さんとお母さんが仲が悪いことを、感覚的に悟っている子どもは、いつぞう、自分の意見を表に出さずに、飲み込んでしまおうのではないのでしょうか。

また、これは親同士にも言える事です。同じ気持ちで子育てをしなければならぬと思う方があまり、自分の意見や提案を飲み込んでしまう。そうして、子どもが大人になつていくうちに、「結婚してからずっと、貴方の考えを優先して自分の気持ちは我慢してきたのに、貴方ばかり自分の思うままに生きて……」と、自分の歩んできた人生そのものに、不満を持つ事もあるかもしれません。同じであることに、こだわらぬ。心を押さえて、自分自身を大切に。か？ こういう時、大切なのは、自分の気持ちをきちんと言えあうことです。

服が汚れてしまうのが嫌なら、「二人で遊ぶのはいいけど、せつかく新しい服が汚れそうで嫌なの」と、伝えればいいのです。そうすれば、子どもは、どうしてお母さんがイライラしているのかが理解で

きます。「じゃあ、新しい服じゃなくて、運動用の服に着替えるから。それなら遊んでもいい？」
洋服を着替えてでも、お父さんと遊びたい子どもの気持ちを、感じることができそうです。

親の決定ばかりで物事を進めていくのではなく、子どもの気持ちや意見を聞くという耳を傾けて下さい。
あるご夫婦が、それぞれ、子育てについての悩みを相談しに来られました。双方が、娘さんの育て方において、相手の物言いや行動、考え方が、「子どものためにはない」と思っています。子どもさんは、繊細で、人の心を人一倍感じ取れる子です。自分のことで、両親がいがみ合っているのを肌で感じていたのでしょう。両親の顔を伺い、お父さんもお母さんも笑顔でいて欲しいと、自分の心を押し殺して、ついに、心を閉じてしまいました。それでは、今度は「娘が心を閉じたのはどちらのせいか」という言い合いを繰り返してしまっています。

相手を糾弾するのではなく、自分の心を伝えること。それが、コミュニケーションにおける重要な基本です。それを、忘れないようにしましょう。
毎月コミュニケーションの講座を開催しています。
ご興味ある方はご連絡ください。

【問い合わせ】
☎096-342-9733
tsugawa@jinzai-ikusei.jp

福原 弘次さん
中内土木 社長
(宇城市不知火町松合)
三角町の天草1号橋扱い、「新天門橋」建設現場そばに高さ7m、幅20mの看板に新天門橋やくまモンなどのイルミネーションを設置しました。5月30日まで毎日午後5時半から同10時まで点灯しており、天草から三角方面に向かう方向から綺麗に見られますよ。

元気発信！

松下 勝司さん(51)
ハウストウ熊本西店 だんだんホーム 社長
(熊本市西区野中2丁目)
熊本市西区、南区、中央区を中心に中古戸建て住宅、マンション、土地の売買仲介を行うハウストウ熊本西店を運営。登録料無料の物件情報メール配信サービスを開始しました。希望条件に合った物件の最新情報、価格変更、契約済み土地情報を随時、配信します。

元気発信！

西本 真一さん
瑠璃紺 代表
(熊本市中央区船場町下1丁目)
慶徳加来病院西側のアルテハイム熊本ビル1階に和食店をオープンしました。最大14人収容の店舗で、鮮魚や野菜など旬の食材を使ったコース料理を中心に提供します。夜は完全予約制で営業するので、時間を気にせずゆっくりと過ごしていただけます。

元気発信！

渡辺 真亮さん
オフィスシワテクノス 代表
(熊本市北区鶴羽田1丁目)
家庭用の防災無線受信機を販売開始しました。行政機関などから発信されるアナログ防災情報を受信する屋内設置用の装置で、雨や風の際に聞き取りやすいことが特徴です。軽量、コンパクトで、音質も良く、いざという時の備えに活用してほしいです。

元気発信！